編纂本朝尊卑分脈圖脱漏 下

839
3
26

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26

ガラス使用

異本第十五巻脱漏流布本有四巻者畧系也

萬多親王
日本紀畧云天長七年四月甲子薨母夫人尿中務大輔藤原朝臣鷲取女也詔贈一品年四十三

高蹈高居
三代實録云貞観四年四月廿日戊午賜姓平朝臣

高平
三代実録云元慶元年十二月廿日癸巳無位高平王賜姓平朝臣

保世
三代実録貞観四年四月廿日紀自保世已下八人住世已下四人合十二人為正躬王男賜姓平朝臣

好風定文
三代実録貞観十六年十月廿日紀賜姓平朝臣

輔世王
三代実録元慶三年六月廿四日癸未卒

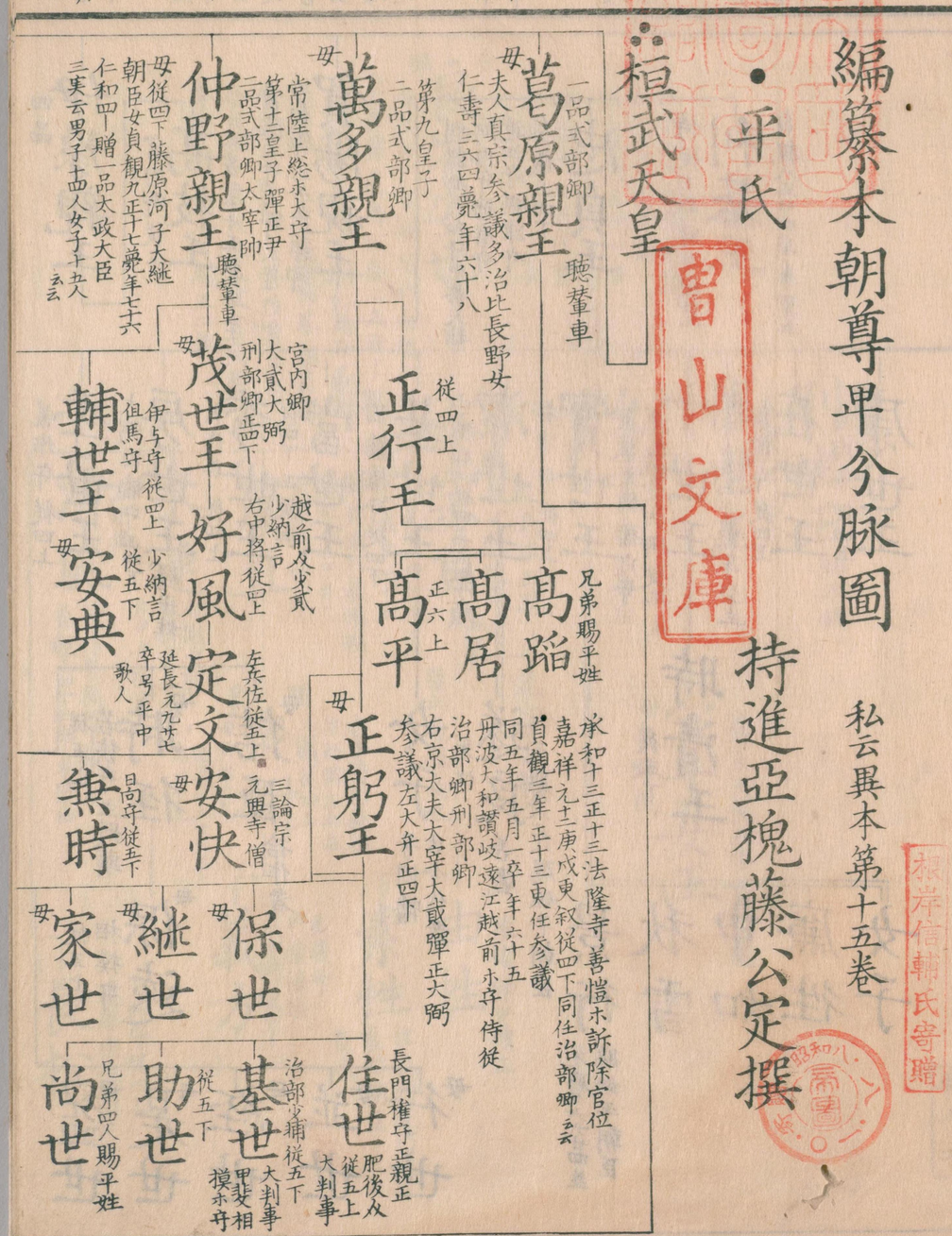
編纂本朝尊卑分脉圖

私云異本第十五巻

桓武天皇

平氏

持進亞槐藤公定撰



曽山文庫
根岸信輔氏寄贈
昭和八・八・廿一

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脉図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

安典
三代実録仁和元年二月廿八日甲寅無位云々賜姓平朝臣

伊豫親王
日本紀畧云大同二年十月辛巳中務卿三品云々潛謀不軌十月乙酉徙親王并母夫人藤原吉子於川原寺幽之一室不通飲食乙未親王母子仰藥而死時人哀之

賀陽親王
三代実録云貞観十三年十月八日庚戌二品太宰帥云々薨

忠貞王
三代実録云元慶八年八月廿七日乙卯薨年六十五

房世王
三代実録云貞観五年八月八日戊辰賜姓平朝臣元慶七年八月廿一日甲戌云々卒

皇太后班子女王
紀畧云昌泰三年四月一日戊午崩年四十八号洞院大后

木連
続後紀嘉祥二年六月庚戌卒時年四十六

長松
三代實録元慶三年十一月十日乙丑卒時年六十六

- 伊豫親王（四品）
  - 高枝王（宮内卿従三 天安二五十五薨年五十七）
    - 常陸太守上野太守二品彈正尹治部卿 賀陽親王
      - 刑部卿大和守中務大輔河内守播磨守近江守摂津守参議正四下 忠貞王
        - 侍従下野権守従四上 利基王（貞観八正廿四卒年四十五）
        - 季世王（羨作守従四上）
        - 房世王（大弼因幡守正四下 賜平姓）
          - 時径（従五上 若狭守主殿頭）
            - 保遠（従五上 相摸守）
              - 益世
              - 是世
              - 経世
              - 並世
              - 行世
          - 信臣（拾作者）
        - 秀世王（羨作守従四上 従四下 正親正）
        - 當世王（因幡権守従四下）
        - 基世王
          - 女子（号因幡 古今作者）
        - 潔世王（山城守従四上大學頭）
          - 遂良（死位 善書 元慶八三八賜姓平朝臣）
        - 實世王（摂津守従四上 中務大輔播广守 参議宮内卿従三）
          - 景行（元慶六廿四並賜姓平朝臣）
            - 秋雪
            - 申如
            - 廉往
            - 女子
        - 十世王（延木十六七二薨年八十三）
          - 時清王（従五下）
        - 在世王（相摸守従四上 河内守従四上）
        - 康世王

- 備後守従五下 利世王（賜平姓 大舎人权従五下）
  - 惟世王
  - 女子（皇太后班子女王光孝后 宇多母后 母當宗氏）
    - 宜子女王（齋宮天長五年二月卜定 母菅野氏）
      - 左衛士大尉雅樂頭 左近少将同将監 左右馬頭左衛門佐 三木左大弁左門督左京大夫 按察使左兵衛督 右近大将春宮大夫 大納言正三
        - 良岑安世（弁頭）
          - 母従五下百濟宿祢永継正五上百濟飛鳥公奈止九女イ説 藤原真夏卿冬嗣公同母弟也 延暦廿一二廿七賜良岑朝臣姓 貫右京弘仁六七十三改貫左京 今日任左京大夫天長七七六薨 年四十六ヤ同七日贈正二位
          - 宗貞（左兵佐正四下イ号花山僧正歌人 左少将従五上 出家 寛平二庚戌正十九 入滅年七十五）
            - 僧正遍照是也
            - 素性（住良因院仍賜良因朝臣 歌人）
            - 由性（山権律師少僧正）
          - 農直（掃部頭内蔵権頭 讃岐权右中弁 丹波守従四下）
            - 衆樹（蔵 母丹治比氏 三議従四上 右中将内蔵助 治部卿左兵佐）
              - 義方（羨濃守 内蔵権頭 左中将従四下）
          - 木連（式部少陸奥越前等守 左中弁従四下 延喜廿九廿五卒年五十九）
            - 清風（羨作守従四下播广权 貞観五四十五卒年四十四）
              - 長松（大和守従四上 遣唐使准判官）

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

珎栈
大鏡裡書下云贈従三位云云

時望
補任云母同伊望延長六年正月七日従四位上同年六月九日右大弁同八年正月廿九日参議美平三年十月廿四日左大弁同四年正月七日正四位下同七年三月八日従三位中納言天慶元年三月廿五日薨年六十二

伊望
補任云母四品彈正尹人康親王女延長五年正月十一日任参議同六年正月七日従四位上同年六月九日式部大輔承平二年正月七日正四位下同四年三月廿日正四位上同年十二月廿一日従三位中納言天慶元年六月廿三日大納言

善理
天台座主記大和守従四位下平朝臣理善云云

覺慶
天台座主記長和三年十一月廿三日入滅年八十七

中興
後三光孝天皇ノ孫忠望王ノ子トナル巻末光孝ノ平氏ノ系ニ見ヘシ

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

實親
補任云久安四年二月十五日
出家十一月日薨年六十二

基親
補任云建永元年月日出
家年五十六

經高
一代要記云建長七年六
月前參議正二位平經高
薨年七十七

棟範
弁官補任母故入道前中
納言正二位藤原清隆卿女
建久五年閏八月廿日卒年
廿五

成俊
補任云嘉禎三年正月廿日
豐後守同日叙爵仁治四年
正月五日從五位上寛元元年
九月九日春宮少進同二年
三月六日兼宮内少輔室治
二年正月廿三日勘解由次官
同三年十月廿九日正五位下
建長三年三月十六日藏人同
六年正十三左少弁同八年二
月廿三日正五位上正嘉元年
十月九日權右中弁同日從
四位下同二年正月十三日右中
弁同年七月九日從四位上
正元元年正月六日正四位下
同年四月十七日兼東宮亮
弘長元年二月日兼中宮亮
同年三月廿七日左中將同年
四月十日藏人頭同年八月廿
日皇后宮亮同二年十二月廿
一日參議文永元年六月二日
從三位同三年十月廿日辭
參議同五年正月七日正三
位同七年十二月四日從位同
八年十月十三日還任參議弘
安三年正月五日正二位正應四
年四月六日權中納言同年七
月廿九日辭退八月日出家
同五年閏六月廿八日薨年七
十九

範國 藏 春宮大進 伊与守 右兵門權佐正四下 母致明女
- 師季 五藏 從五下 金作者 使母
  - 經章 春宮亮從四上 式母章任朝臣女 後拾作者
- 經方 藏 春宮亮從五上 民部大輔 文 藏 中宮大進 出羽守 兵部大輔從四上 母主殿頭藤惟信女或平直方女
  - 知信 母藤頭惟信女或平直方女
    - 女子 祐子内親王紀伊 後拾作者

行親 藏 右兵門權佐 母
- 定家 藏 母周防守藤頼祐女 使 左兵門權佐 正四下 尾張守 三事 母越中守藤家任女
  - 時範 藏 右大弁 文 藏 内藏頭正四下 左大弁右權佐 五藏 參議從三 母春宮亮藤經章女
    - 實親 五藏 木工頭 勘長官大貳 治部少輔 勘次官相模守 文 民部卿 勘解由次官 頭 母為隆卿女 保元四三十三出家 應保九七卒年四八
      - 範家 五藏 木工頭右權佐 三事 右大弁從三
        - 親範 藏 頭 母權中納言清隆卿女 承安四六五出家廿八 承久二九廿八薨年八十四 贈左大臣正一位号 畏沙門堂民部入道 三議正三 十作者
          - 基親 藏 左大弁 兵部卿從三 母若狭守高階 巻重要 曼珠院圓仙孝子 少僧都
            - 親守 從四下 安藝守 母 出家 惡寂
            - 親房 母
            - 親長 母
            - 信親 正五下 皇后大進
            - 仙範
            - 女子 號佐局 統古作者
          - 女子 新続作者
          - 親清 加賀守 正五下
          - 宗俊 刑部權少輔 正五下
          - 女子 號佐局 統古作者
        - 春宮少進
        - 經有 正五下 若狭守
          - 高望 民部少輔 兵部大輔
            - 俊高 正五下 民部卿 勘解由次官
            - 經氏 藏 左兵門權佐 皇后大進 從四下
              - 棟望 從四下 權左少弁 正五下 左兵門權佐 治部大輔
                - 顯棟 治部卿 正三 治部卿從三 治部同
                - 經棟
                - 棟仲 刑部卿 治部卿 正三
                - 時清 時成
                - 棟俊 正五下 少納言 勘解由次官 正三
                - 成範 伊勢守
                - 棟成 少納言
              - 行範 正五下 弁 左大弁 民部卿 藏 治部大輔 五藏 三議正三 頭
              - 棟基 五藏 資実卿妾 家光卿母 宗尊親王室 准三后從位 棟子
                - 女子 正五下 少納言 從五上 加賀守 範資望範
                - 女子 三議定經母
              - 棟範 五藏 使 左門佐木工頭 五藏 右大弁正四下 藏 勘解次官 正五下木工頭 為舞女本夫被害了
              - 女子 三議定經母

時信 正五下 兵部權大輔 贈左大臣正一位
- 時忠 中宮大夫刑部大輔 左兵門督 五藏 檢別當右大弁 三事 權大納言正二 頭 千載作者
  - 親宗 五藏 頭 母大膳大夫藤家範女 正治元七十七薨年五十六 千新古新勅ホ作者 藏 參議左大弁 三事 中納言正二
    - 時實 越後讃岐ホ守 從三左權中將 文治元年五月廿日配流周防國同五年 閏四月十五日帰京建暦三正廿八薨年六十三
      - 時秀 兵部少輔從五上
    - 時家 藏 使 右中弁從四下 イ本時宗已下三人為時家子
    - 時宗 從四下
    - 時定 從五下
      - 女子 伊与守源義經妾
  - 女子 母同 清盛公室 建礼門院御母 兵ホ宗盛公以下母 從二位時子
    - 女子 母民部卿頼賴卿女 後白河院后 高倉院母后 建春門院平滋子
  - 桓武天皇十三代 勘解次官讃岐伯耆守 右兵門權佐兵部少輔 參議左大弁 中納言正二
  - 範國 五藏 弁 頭 承元三正七薨 從三 伊賀阿波加賀ホ守 勘次官治部大輔皇后宮亮 攻親
    - 親高 從三 天福元五廿四出家 真智
      - 親廣 從五下 右兵門尉
      - 親長 使 五藏 弁 左右權佐 左中弁 治部卿正三

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

時忠
補任文治元年九月廿三日
配流能登國同五年二
月廿四日赦刻於配所薨
年六十二

惟忠
補任弘長三年正月廿一日
薨年七十七
親継
補任文永二年月日薨
親明
補任母宗像大宮司基安

忠世
補任母従二位修理大夫
経雅卿女
有親
補任仁治元年六月十四日
出家法名真淨文應二
年正月四日薨
経親
補任母従二位経雅卿女
文保元年九月四日出家
法名淨宣年五十五
親顯
補任永和四年四月四日薨
年六十二
高兼
補任弘安四年七月十日薨
年六十三
兼親
補任建長四年十二月九日叙
従三位同六年八月七日出家
信範
補任治承元年七月十日出
家年六十六
親輔
補任建保三年十二月廿日
出家

内大臣宗盛公室
女子
内大臣重盛公室
女子
建春門院冷泉
女子
建春門院帥
女子
関合戦之時入海了

少納言齋宮頭
内藏頭修理権大夫
参議大藏卿
太宰大貳従二
惟忠

兵部少輔
範忠

具守公室
女子

内藏頭
従三
親継

正五下
齋宣下
兵部少輔
親世
出家
至新後亦作者

左大臣実泰公室
女子

五藏
左門權佐
宮内卿
使
親守
本一賢

五藏
親明
文和三六八薨年六十一

左中弁少納言
五藏
従三

左馬頭
少納言
權左中弁
五藏
正四下
親名

治部卿
三位
親良

民部大輔
親仲

右二門尉
母
親兼

従三修理權大夫
元一信
宗宣
寛喜三正月十四日出家
五月七薨年五十五

少納言
知宗

少納言
宗望

建春門院新中納言
女子
三位中將惟盛妾

中宮大進
右權佐勘次官
使
有親
右中弁従二
頭
参議
母
權中納言藤光隆卿女

五藏
三事
知範
母

五藏
文
信範
頭
刑部權大輔
少納言
左京權大夫
權右中弁
五藏
兵部卿正三

女子
参議親隆卿室
親雅卿女

中宮大進
木工頭兵部少輔
藏
少納言四五下
藏
従三
信國

時尼卿為子
右京大夫
右中弁
宮内卿従三
時兼

藏
文
信基
頭
藏
内藏頭正四下

五藏
左京大夫
治部卿従三
親輔
頭
或實刑部權大輔
信季男云云

中宮大進
官内卿左中弁
權大納言正二位
使
時継

五藏
正應三十出家
永仁二七十薨
頭

山
靈增僧正弟子
法印
有快

五藏
修理大夫宮内卿
權中納言従二
宗経
頭
貞和五三三薨年五十六
侍従

左少弁正五上
時経

五藏
參議左大弁
三事
權中納言正二
本名雅親又經望
親時
頭
暦應二十二十五
薨年十六

五藏
權中納言正二
弁
親顯
頭
母
親望

母
忠國

使
左大弁
權大納言正二
頭
経親
五作者

三事
權大納言従二
忠世
頭
正應四十廿出家
廿四日薨

五藏
春大進
右二門權佐
右少弁正五上
使
忠顯

五藏
従四上
左少弁
忠望

左衛門佐
忠村

五藏
右二門權佐
治部卿正五下
五藏
宮内權大輔
兵部權大輔
右京大夫
治部卿従二
使
兼俊
兼顯
俊知
母
俊顯

文章博士大藏卿
大宰權帥
五藏
權中納言正二
本惟兼
惟継

五藏
少納言
惟村

母
参南山
惟顯
暦應五廿五出家
康永二四十八薨年七十八

平ノ五

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

無有
補任正和元年分月十音出
家法名寂緣

範賢
補任弘安五年九月十五薨

惟補
補任母法印增栄子

棟信
補任康應元年月日薨

時當
補任永禄九年四月十四
薨年三十六

信無
補任康暦三年月日薨

範高
補任延元元年十月十五出
家年五十六

時高
補任建長六年三月廿六日
薨

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

常陸大掾

- 國香　鎮守府將軍　本名良望　為將門被害云々
  - 良兼　下総介従五下
    - 公雅　武藏守従五上
      - 致成　出羽守従五上
      - 致賴　備中掾従五下　寛弘八十二卒　長保元維衡依合戰支配流隱岐
        - 致遠　従五下
        - 致光　大宰大監　石見守
          - 致任
            - 公致　母
            - 公親　内匠允　母
              - 公經　左兵門大尉　字大箭　詞花作者　治安三七廿八出家　同八一卒年四十二
    - 致利　出羽守正五上
  - 良時　従四下　鎮守府將軍　イ一將
    - 將持
      - 公連　字六平
        - 公元　下総介
    - 將弘
    - 將門　瀧口小二郎　号相馬　号外都鬼王　貞盛誅之
    - 將賴　御厩
    - 將平　大葦原四郎
  - 良孫　従五下上総介　鎮守府將軍

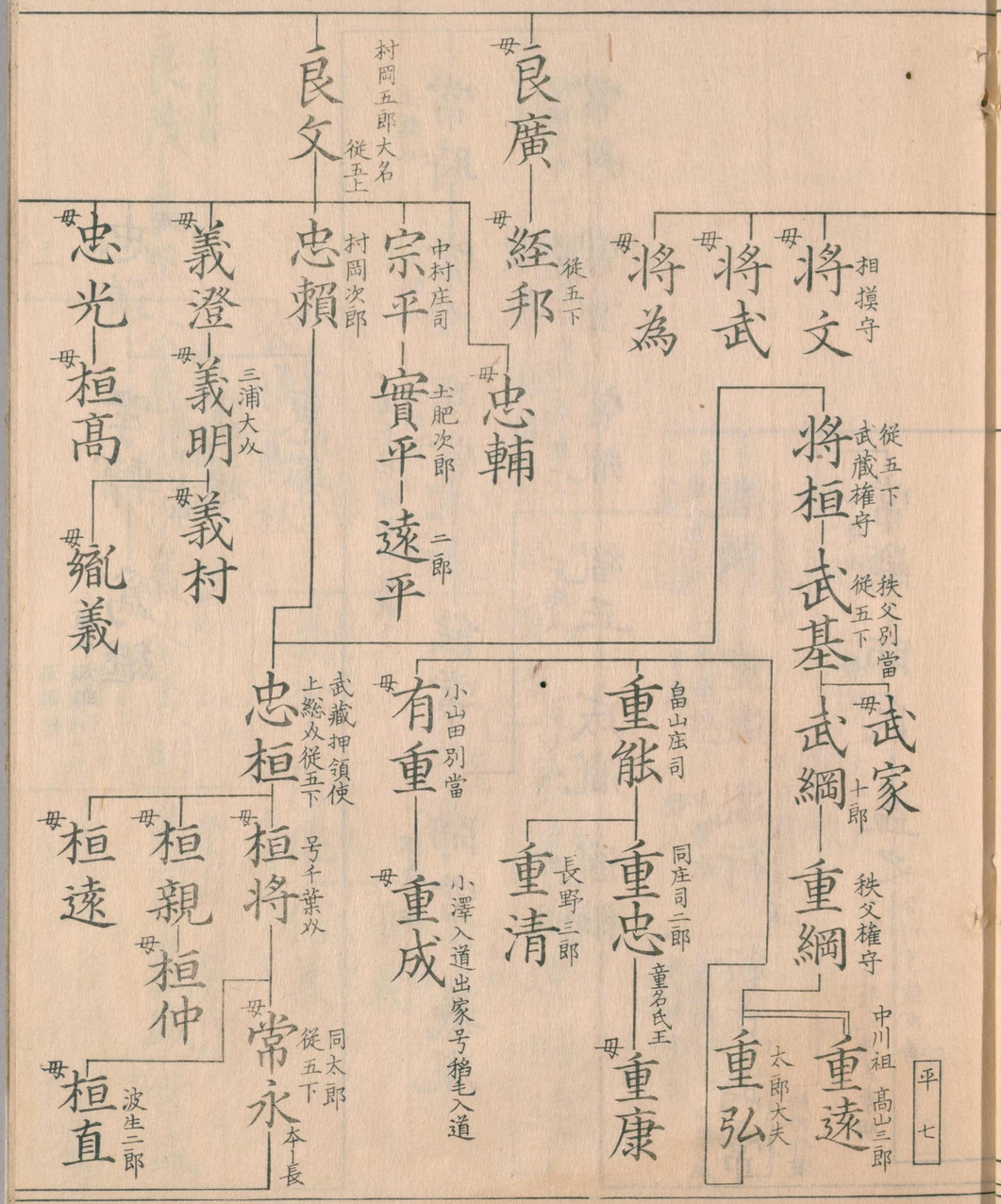
- 良廣　母
  - 經邦　従五下　母
    - 忠輔　母
- 將為　母
- 將武　母
- 將文　相摸守　母
  - 將桓　従五下　武藏權守　狹父別當　従五下
    - 武基
      - 武家　母
      - 武綱　十郎
        - 重綱　狹父權守
          - 重遠　中川祖　高山三郎
          - 重弘　太郎大夫
- 良文　村岡五郎大名　従五上
  - 忠賴
    - 宗平　中村庄司　村岡次郎
      - 實平　土肥次郎
        - 遠平　二郎
    - 義澄　母
      - 義明　三浦大介　母
        - 義村　母
    - 忠光　母
      - 桓高　母
        - 亂義　母
  - 忠桓　武藏押領使　上総介従五下　号千葉介
    - 桓將　母
      - 常永　同太郎　従五下　本一長　母
        - 桓直　波生二郎　母
    - 桓親　母
      - 桓仲　母
    - 桓遠　母
- 有重　小山田別當　母
  - 重成　小澤入道出家号稲毛入道　母
- 重能　畠山庄司
  - 重忠　同庄司二郎　童名氏王
    - 重康　母
  - 重清　長野三郎

平七

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』　請求記号 839-26
ガラス使用

常胤
東鏡云建仁元年三月廿四日甲戌千葉介常胤卒年八十四母平政幹女

胤行
東鏡云弘長三年八月六日癸丑將軍家令勸十首歌於人々御是素暹法印卒去之後云云為被廻滅罪之謀以彼懐紙裡可被書寫經典云云

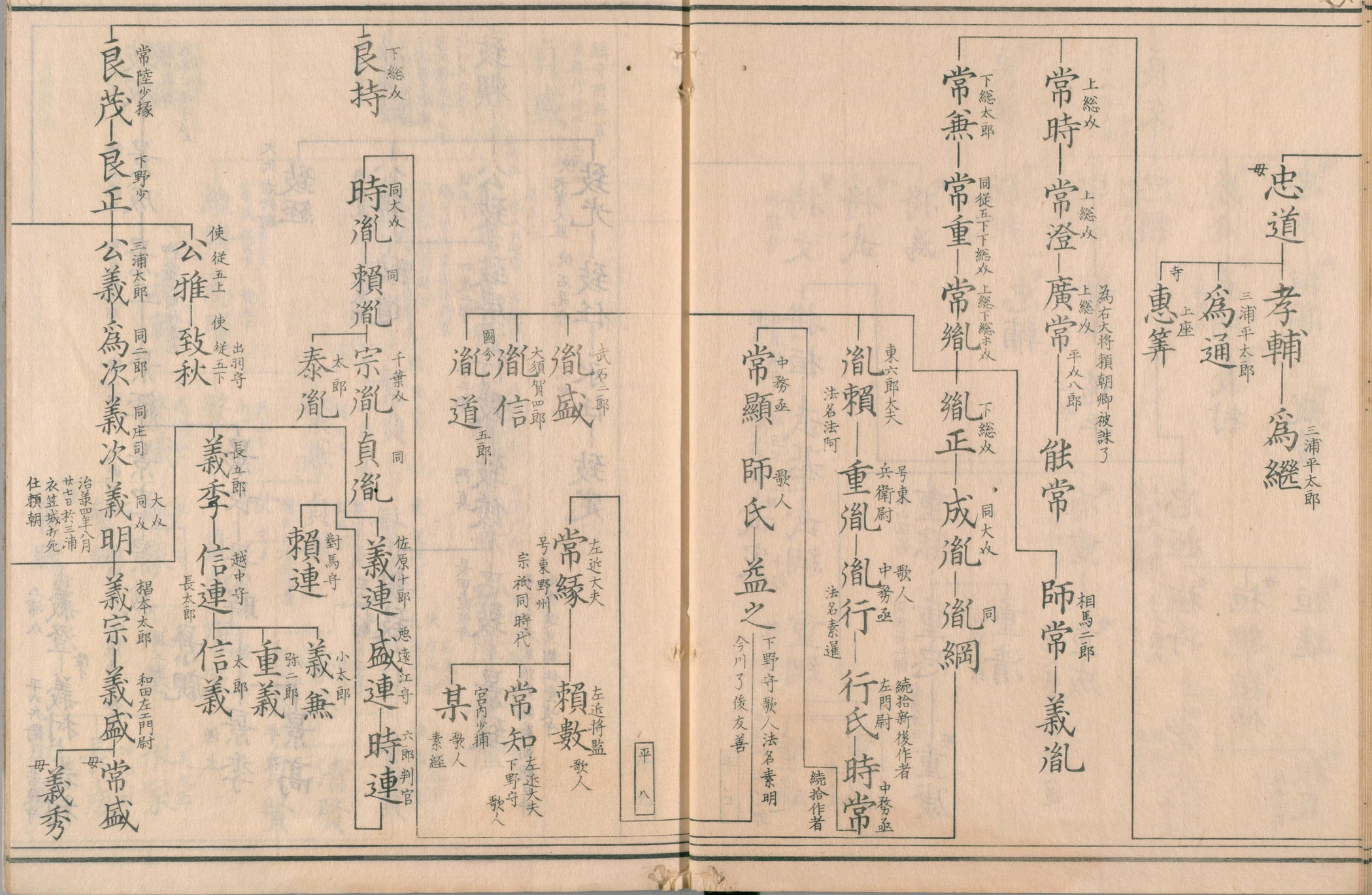


平七

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

常胤
東鏡云建仁元年三月廿四日甲戌千葉介常胤卒年八十四母平政幹女

胤行
東鏡云弘長三年八月六日癸丑將軍家令勸十首歌於人々御是素暹法印卒去之後云云為被廻滅罪之謀以彼懐紙裡可被書寫經典云云



国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

- 致成（従五下）— 瀧口太郎 或本公雅子云云
  - 景成（鎌倉権守）
    - 景正（鎌倉権五郎 御霊大明神是也）
      - 景経（権八郎）
        - 景忠（大庭太郎）
          - 景義（同権守 号懐島平権守）
            - 義澄（三浦次 隆イ）
              - 義村（平六兵衛 若狭守）
            - 景親（同三郎）
          - 景長（梶原平三）
            - 景時（源太）
              - 景季（平次）
              - 景高（平次）
- 致賴（或本公雅子云云 長保元依維衡合戦事配流 隠岐国 長田流従五下）
  - 致経（大矢 右兵尉）
  - 公親（内匠允）
    - 致道（悪太郎）
  - 公致（従五下）
    - 致房（加茂二郎）
      - 行致（平三郎）
        - 致俊（門真）
          - 忠致（長田壹岐守 平治元於尾張國誅義朝朝臣并正清進京都任壹岐守）
            - 景致
          - 親致（左兵門尉）
  - 致光（使 大宰大監）
    - 致任（使 石見守）
      - 永任（大炊允）
        - 致定

鎮守府将軍 陸奥守従四下左馬允 号平将軍
- 貞盛
  - 兼忠（従五上 岩城祖 上総介出羽守）
    - 高衡（右衛門尉）
      - 兼衡（右衛門尉）
        - 盛兼（右衛門尉）
          - 邦隆（右衛門尉）
            - 兼隆（右衛門大夫）
  - 繁盛（武略通神人也 陸奥守正五下 母家女房）
    - 維茂（鎮守府将軍或非将軍 信濃守従五上帯刀 奥山城等流 世人号余五将軍）
      - 繁貞（使 従五下 母土佐守藤季随女）
        - 繁清（使 従五下 母奥山平大夫）
          - 維貞（使 石見守 民 従五下 母惟宗忠重女）
            - 繁賢（使 従五下 隠岐守）
            - 清賢
            - 繁忠（従五下）
              - 貞賢
          - 繁兼（従五下）
            - 貞兼（従五下 絵式部後拾作者）
            - 女子
      - 維幹（平大夫 従五下 三守流）
        - 為賢（従五下）
          - 為幹（従五下）
            - 繁職（飛騨守）
              - 繁綱（号今津六郎 所衆）
                - 喜勝（僧 験者）
              - 繁家（奥山三郎）
                - 永基（城太郎）
                - 長成（加地三郎 城九郎）
                - 助國
                - 永家（足太郎）
            - 繁成（出羽城次 従五下）
              - 貞成（城太郎）
              - 康家（城太郎）
  - 兼任（下野守）

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

経時
将軍執権次第云母城女
景盛女
時頼
母同経時

時氏
将軍執権次第云母
三浦義村女
貞時
右同書云母城女義景
女

使 右衛門尉 従五下
維繁
仁安二三三卒

修理亮
実繁
承安三四卒

河内守 従五下
繁雅
出家

兵庫頭
信繁
新勅続後作者
法名信阿

左馬権助 従四下
季繁
左工門尉 正五下叙留 佐渡守
繁無

貞永元二七 任佐渡守
度繁
但馬守
繁朝

母
邦繁
母
繁綱

使 藏 左工門尉 従五下 出家
繁茂
使 藏 従五下叙留
遠繁
使 藏
繁行
続後作者

従四下
繁俊

女子
参議藤頭雅妻
権中納言雅藤卿母

母
繁親
民部少輔 正四下

繁高

女子
安嘉門院四条
法名阿仏
権中納言為相卿母
歌人

上野常陸陸奥守
使 右衛門尉 従四下
維叙
実右大将維時卿男

使 越中守 正五上
貞叙
母
信盛

鎮守府将軍
中務少輔 従五下
永盛

使 従五下 越前守
維輔
使 上総介 従五上
中方
義清

使 上総介 従五上 左工門尉
維方
盛方

北条三郎
時綱

北条流
使 大夫尉 常陸介 筑前肥後守 従五上
維将
天元四卒 号先代

使 上総介 肥前守 従四下
維時
母 貞盛朝臣為子

使 大夫尉 上総介 従五上
直方

阿多見四郎禅師 或本無之
聖範
時直

従五下 伊豆介 茶四郎大夫
時家
聖範子云々

従五下
時方

遠江守 従五下
時政
号北条四郎
関東執事第一
元久二七七廿出家明盛
建保三正六卒 七十八

女子
源頼義朝臣室

正五下 武蔵守
経時
仁治三六十六執事 寛元四月十日出家法名安樂
号中武蔵守又建華寺殿

僧
頼助

相模守 陸奥守
義時
執事 右京権大夫 従四下

武蔵守
泰時
執事 左京権大夫 正四下 歌人

従五下 修理亮 歌人
時氏
義久三六四上洛
六波羅北方始
元仁元十十七補
執事仁治三五
十九出家観阿
同年六五卒年六十号常樂寺殿
貞應三六廿上洛
嘉祿三六廿三下向
寛喜三六八卒早世

左工門尉左将監
相模守正四下 歌人
時頼
寛元四年三四一
執事康元元
十月廿三出家道崇
弘長三十一廿二卒年
三十七号最明寺

相模倶馬権守
左馬頭
時宗
正五下
文永元廿二執事
弘安七四四出家
法名道果同日
卒年廿四号法
光寺

相模守
左馬権頭
貞時
従四下
応長元十廿六卒
年四十
弘安七十六執事

従五下 左近将監
泰家
正中三三十五出家 恵清

相模守
高時
従五下
左馬権頭
正和五七十執事
正中三四十三出家
崇鑒

相模太郎
邦時

相模三郎
時行

平十

時幸
東鏡云寛元元年九月廿日
壬午遠江修理亮時幸依
病出家六月朔日戊子入道
修理亮從五位下平朝臣
時幸卒

- 女子
  - 左馬頭源義氏室 左衛門佐泰氏女
- 公朝 寺僧正 続古以下作者
- 名越 朝時 周防越前守 遠江守 從四下 仁治三出家生西 寛元三四六卒年五十三
  - 爲時 左工門佐 從五上 遠江守 母城女 藤景盛女
    - 式部大夫 從五下 時輔 文永元十九上洛同九二十五於六波羅南方被誅年二十五
    - 武藏守從五下 宗政 弘安四八九卒年廿九
      - 相摸守 右馬權頭 師時 正安三八廿三補執事 應長元九廿二出家道覺廿六卒 年廿七号西殿
        - 左近大夫 時茂 一番頭人評定衆 小侍所号南殿
      - 修理亮從五下 政助 若宮別當法師權大僧都賴助弟子
    - 遠江守 從五下 時定 正應二於筑前國卒
      - 源賴氏女 女子
      - 修理亮從五下 宗賴 弘安二六卒
        - 從五下 越後守 兼時 弘安七十三上洛先南次北正應六正九下向即上洛同年三七下向鎮西永仁三六又關東同年九十八卒年廿三
        - 修理亮從五下 定宗 永仁三八十九於鎮西卒
          - 遠江守從五下 隨時 元亨元六廿三於鎮西卒
            - 駿河守左近將監 從五下 宗方 永仁五七六上洛北方正安二十十五下向嘉元元三四被誅年廿八
          - 從五下 民部大輔 公貞
          - 左近將監 時有 続千作者
- 江馬 光時 從五下 越後守
  - 尾張守 民部大輔 從五下 時章 弘安三十廿三出家 永仁二廿二合戰被誅
    - 正五下 尾張守 永仁二十二廿八卒 公時
      - 美作守 兵庫頭 時家 鎮西從五上
      - 從五下 民部大輔 公貞
      - 左近將監 時有 続千作者
  - 從五下 修理亮 時幸
  - 從五上 中務權大輔 教時
    - 備前守 宗長 夏時 続千作者
    - 寺法印 圓朝 玉作者
    - 從五下 遠江守 萬時
      - 遠江守 公萬 玉作者
      - 越前守 時見 続千作者
  - 從五下 備前守 時長 藏使
    - 母 長賴
  - 遠江守 刑部大輔 管領 時基
    - 中務權大輔 朝貞
      - 新後作者 賢性
  - 式部丞從五下 爲時
    - 備前守 長重

平十一

長時
將軍執權次第云文永
元年七月三日出家法名
專阿八月廿日卒年廿五

實泰
東鏡云弘長三年九月廿日
癸卯入道陸奥五郎平実
泰卒年五十六法名淨仙

母 重時 陸奥相模太守 従四上 歌人
寛喜二三廿五上洛北方
宝治元七三下向
同月補執事
建長八三十一出家観覚
弘長元十二三卒年卒四
号拯樂寺

母 長時 宝治元十七六上洛北方 建長八五廿四下向 康元元十廿二補執事 左近將監 武藏守従五上
宝治元七三下向
建治二十四下向
同年八十七卒年廿五
号赤橋

母 義宗 左近將監 駿河守 従五下 続拾作者
文永八十三上洛北方
建治二十四下向
同年八十七卒年廿五

母 久時 刑部少輔越後守 武藏守従五下 玉新後続千作者
正應六四四上洛北方
永仁五六十八下向関東
号赤橋

母 守時 執事 正中三三十七補執事 讃岐守左近將監 武藏守相模守 従四下
正慶二五十六於相州
村岡合戦討死
号赤橋殿

母 時茂 陸奥守従五下 続古続拾新後作者
建長八六六上洛北方
文永七正廿七於京都
管領卒年廿一

遠江守正五下 左近將監 越後守従五上
嘉元二十廿上洛北方
徃治二十四卒年四九
元徃二十三下向

母 範貞 新後撰作者 続千作者
元亨元十二上洛
元徃二十三下向

母 範貞 左近將監 越後守従五上 続千作者

母 種時 従五下
元亨元下向鎮西
修理亮

母 英時 太政大臣公守公妻
実明卿母

母 女子

母 女子

母 時治 陸奥守家督 中務大補 新後拾作者
武藏守従五下 本時景

母 重貞 式部大補

母 重高 越後三郎

母 義政 武藏守従五下 本時景 玉作者 続古続拾新
文永廿六七補執事
建治三四出家
弘安四十廿入於塩田卒年四
号塩田入道殿

母 國時 玉作者

母 俊時 中務大補

母 業時 駿河守陸奥守 正五下
弘安六二十四補執事同十六十八出家鑒念
同廿六日卒年四十七

母 時兼 尾張守従五下 永仁四六十四卒年廿一

母 基時 左馬助 相模守正五下 正和四七十一補執事同五辞 弾正少弼 越後守従五下
正安三六廿三上洛
嘉元二十九下向
号普園寺

母 仲時 元徃二十二廿七上洛北方
正慶二五七没落京都
於江州四宮川原中矢
天亡

母 政村 左京權大夫正四下 執事 相模守陸奥守
建長八三十四補執事
文永十五十八出家法名覚崇
同廿七日卒年六十九

母 時村 陸奥守武藏守正五下 執事 左京大夫 本時遠
弘安元五十六上洛北方
同十八十四下向
正安三八廿二執事
嘉元三四廿三為合戦
討死卒

母 為時 左近將監 従五下 新後玉作者
弘安九十六卒年廿二

母 凞時 執事 相模守従四下
應長元十三執事
正和四七十二出家道常
同月十五日卒年廿七

母 茂時 従五下 左馬權頭
一番頭小侍所
元徃二壬六補執事
正慶五廿二於鎌倉
合戦自害

母 政長 駿河守正五下
正安三七十四卒 歌人
年五十二

母 時仲 近江尾張守 続千作者

母 時敦 越後守正五下 玉続千作者
正慶三七廿三上洛南後北
元應二五廿四卒於京都年四

母 時益 従五下 左近將監
元徃二八廿六上洛南方
正慶二五七 没落同九日於江州
馬場自害

母 有時 正五下 駿河守

母 通時 従五下 玉作者

母 重村 新後玉続千作者

母 時高 駿河守 改齋時 玉作者

母 時邦 左近將監 玉続千作者

母 時尚 木工助

母 實泰 高陽院藏人 越後守従五下

母 實時 越後太郎 建治二十廿三卒

母 實村

母 時直 上総介従五下 配流

平十二

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

貞顯
イ本云正安四廿六月入洛南
方延慶二正十七下向同三
六廿五重上洛北方正和三
十一六下向同四七十一補執
事嘉暦元四廿六出家
法名宗顯号金澤大実殿

宰相中將実雅室後為中將通時朝臣妾

女子

女子
吳竹殿民部少輔親廣妾後又
内大臣定通公妾

女子
左大臣実有卿室

相摸守
修理權大夫正四下
元時連

佐次
執事
時房

承久三六十四六波羅上洛住南方
貞應三六十九下向同月補執事
延應二正廿四卒年六十六号大仏殿

頼家卿
実朝卿
女子
左大將 頼朝卿室
從二位
平政子

母
女子
左兵衛源朝政妾
後中納言
國通室

宰都宮弥三郎頼綱妾
女子
泰綱母
後天王寺摂政

越後次配流
朝盛

從五下
上総次
信時

弘安八十廿四籠居
正安三廿八卒
越後守正五下
顯時

左馬權頭越後守
武藏守中務大輔
修理權大夫從四下
貞顯

正五下
武藏越後陸奥守
貞將

元亨四十月十六日入洛住南方
元徳二壬六廿八下向

正安四七七上洛南
正和三十十六下向
上総次從五上
實政

徳治三正下向鎮西
正和四七十一補執事
上総次從五下
政顯

左近將監
鎮西
種時

延慶三六廿五重上洛
正中三三廿六出家

越後守正五下
時盛

母
貞應三六六上洛南方
正應二正廿九下向
仁治三年出家法名勝圓
建治三五二於京都卒

法名行念
五郎歌人
時村

越後三郎
出家
政氏

弘安十三九上洛南
永仁五五十六下向関東
同年七九卒年五十六
丹後守從五下
左近將監
盛房

從五下
左將監
宣房

從五下
左將監
時繼

母
時景

母
時光

母
政茂

丹波守
貞尚

弥三郎
時有

越後二郎—俊
左將監從五下
時貞

弘安七六廿被召下依惡行也
被移常陸國同年八十三出家
同十月二日被誅
時國

土佐守
時元

玉新後続千作者

美濃守
時綱

玉作者

続千作者
貞資

大納言実宣卿室
女子

法名貞昭 歌人
女子

文永元五辛年卒九
武藏守正五下
朝直

朝房

続古続新後王作者
遠江守
時直

永仁三正於鎮西卒
備中守從五下
資時

陸奥守從四下
元時忠
宣時

下野守
時貞

清時

時藤 新後作者

続拾作
安藝守
時俊

続千作者
貞俊

弘安十十九補執事
正安三四出家忍昭
続拾新後王続千作者

正安三四出家順昭
正和元三廿五出家順昭
同六十二卒年五十四

上野次
陸奥守從四下
宗宣

新後王続千作者
永仁五十七十上洛南方
嘉元三七十七補執事

越後守從五下
貞房

王続千作者
延慶元十廿六上洛六波羅
同十二六於京都卒

王続千作者
武藏陸奥權守
修理大夫從四下
惟貞

正和四年八月上洛元亨元七三
俄下向氣色不快之間吾上
洛正中元八十七出京廿日下着
嘉暦元四廿四補執事同二年
九七卒年四十二

嘉暦三四卒
式部大輔
高宣

母
貞朝

母
宣朝

正和四九十上洛南
正中補執事
貞政

続古作者
左馬助
時親

或時盛子云云

参議定藤卿室
光定母
女子

左馬助
正慶二廿五自害
家時

平十三

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

業兼
補任云兼元三年五月十日
出家

使 上野常陸介 陸奥守従五下 **維敏**

母 **于公** 入道

信盛 衛門尉

帯刀上野常陸介従四上 伊勢陸奥出羽伊豆下野佐渡守 **維衡**

□ 卒年八十五

正度 齋宮助諸陵助 常陸介出羽守

越前守従四下帯刀長 母陸奥國住人長介女

民出羽守正五下 母 **正済**

使 信濃守従五下 後拾作者 母 **正家** 長門守藤信繁女

母藤次親女 **資盛** 大學少允

母大江重綱女 **敦盛** 薩摩守 従五下

式武藏守 **有盛** 従五下

出羽守従五下 母源頼義女 **貞弘**

使 従五下 母主計允貞義女 **正弘**

使 従五下 **家弘**

左兵尉 **頼弘**

母 **光弘**

使 駿河守従五上 母 **維盛**

母 **盛忠** 刑部丞

使 上総介従五下 母 **宗盛**

母 **維忠**

母 **盛時**

使 従五下 **貞度**

右馬助従五上 **貞房**

右馬介 **敦房**

上野介 **敦経**

齋院次官 従五下 **盛房**

使 左衛門佐正五下 相模守木工頭 **業房**

治部卿従三 母従二高階栄子 **業兼**

正四下 宮内卿 **業光**

帯刀長 使 信濃守従五下 母同盛忠 **盛基**

伊勢守 仁平元四八卒 **盛時**

伊勢守 **正時**

寿永三北陸道合戦時討死 実中宮永親子 高松院藏人 **基時**

中納言正三藤原実教卿為子 母同 **教成** 山科流

女子 範能卿室

女子 中納言宗隆卿室

女子 権中納言兼光卿室

中宮允 **保盛**

左兵尉 **叙時**

従五下 兵衛尉 義作守 **貞基**

宇 民田大進 **維基**

掃部介 **貞長**

宮内丞 **貞時**

宮内少丞 **貞義**

宮内少丞 **貞頼**

政基

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

宗次
山槐記云元暦元年七月十九日於近江國大原庄平田入道被討 貞能兄

- 貞季（従五下 使 駿河守）
  - 範季（従五上 使 筑後守）
    - 季盛（勘當 主殿丞）
      - 滿季（文章生）
        - 賴季
          - 季房
      - 仲盛
        - 弘季（藏）
          - 季信
            - 信盛
              - 滿盛（七条院長 圖書助）
              - 盛房（齋院次官判官代）
              - 度保
  - 正季（佐渡守従五上 大監物 右京進）
    - 範季（進平太）
      - 季房（進三郎大夫）
        - 範仲（右馬助）
          - 範綱（筑後守）
            - 家貞（筑後守）
              - 貞能（筑後守）
        - 季宗（右兵尉）
          - 宗清
            - 家清（使 筑後守 従五下）
              - 宗次（平田冠者 イ宗作家）
              - 家貞
              - 貞賴（使 左兵門尉）
              - 通貞（左衛門尉）
              - 貞能（使 筑前守 従五下）
              - 家實（平三郎）
  - 維範
- 兼信（右馬助 従五下）
  - 兼季（佐渡守従五上 右京進大監物）
    - 貞兼（右兵尉 従五下 進三郎大夫）（母 下野守藤行濟女）
      - 兼隆（山木判官 治承四八於伊豆為賴朝卿被討了）
        - 兼時
          - 信衡（春宮帶刀長 左衛門尉）
            - 兼衡（母）
              - 家實（平三郎）
  - 度兼（母）
- 兼孝（治部大輔）
  - 國兼（母同）
    - 國盛（小野判官代 出家）
      - 信兼（左衛門尉 正五下 出羽和泉河内守）（母）
        - 兼衡（母）
  - 盛兼（和泉佐渡守 大夫尉）（母）

平十五

- 貞房（右馬助従五上）（号庄田）
  - 維房（飛騨守掃部助）
  - 康房（伊勢守 文 式）
    - 賴房（女院藏人）
      - 賴度（女院藏人 右近将監 左馬助 若狭守）
        - 貞繼
          - 維度
          - 重房
  - 貞重（式部少輔 左衛門佐）
  - 業房
- 季衡（木工助 大夫尉 下総守 正五上 永保元年卒 年六十）（侯 民）
  - 季繼（正慶為子 従五上 相摸權守）
    - 盛良（使 左衛門尉 従五下）
      - 盛重
  - 盛光（帶刀長 左京進）（伊勢流）
    - 盛行（右兵衛尉）
      - 賴宗（従五下 伊勢守）
        - 賴俊（従五下 帶刀 兵庫頭）
          - 俊家（下総守）
          - 俊實（豊後守）
          - 俊維（肥前守）
            - 圓辰（僧）
      - 盛長（兵庫頭）
      - 維家（民部少輔）
      - 貞光（雅樂助 木工助）
      - 正康（帶刀 右兵尉 従五下）
      - 忠光
  - 盛國（使 左兵門尉）
    - 盛康（使 左兵門尉 従五下）
      - 盛範

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

- 式部大夫 **俊盛**
  - 左衛門尉 **盛長**
    - 三郎 **宗俊**
- 豊前守 伊勢守 従五上 正應二正十三任豊前守 同日叙従五下 **俊繼**
  - 兵庫助 尾張守 **俊光**
    - 母 法名覺仏 **俊房**
      - 実盛氏子 従五下 **俊方**
        - 宮内丞 **俊兼**
          - 左衛門尉 法名浄玄 **貞度**
            - 宮内丞 法名浄忠 **貞衡**
              - 左衛門尉 **貞豊**
      - 次郎 **貞俊**
        - 三郎 **俊廣**
          - **貞廣**
      - 中務丞 法名浄玄 **貞利**
        - 左馬助 法名浄忠 **貞賴**
        - **貞冨**
    - 三郎 **長房**
    - 四郎 **俊廣**
      - 平六 民部丞 **經俊**
  - 伊豆守 **俊泰**
    - 兵庫助 **俊忠**
      - 遁世 **宗俊**
  - 左衛門尉 **盛繼**

- 左衛門尉 **俊家**
- **俊行**
  - **俊長**
- 母 **圓勝**
  - 母 **俊高**
    - 母 **後國**
      - 母 **後久**

- 新左衛門尉 八郎左衛門尉 肥前守 **季俊**
  - 法名道山 **憲經**
    - 修理亮 平左門尉 周防肥前守 **經久**
      - 法名道進 道号覺山 於手越川原討死 **盛經**
        - 肥前守 法名正盛 道号春秋 **盛久**
          - 九郎左門尉 肥前守 **盛經**
            - 九郎左門尉 肥前守 **盛冨**
              - 八郎左門尉 肥前守 **盛種**
                - 肥前守 **盛正**
              - 禪 **正伊**
                - 禪 **盛廣** 弥八
                - 禪 **堅崇**
                - 禪 **寶秀**
                - 禪 **禪正**
                - 禪 **崇堅**
                - 禪 **兼珠**
              - 禪 **玲喬**
          - 九郎左門尉 遠江守 **盛秀**
            - 彦右門尉 遠江守 **盛行**
              - **盛國**
          - 平三 下野守 **盛信**
            - 信濃守 **盛長**
            - 平三 **盛昌**
            - 下野守 **盛子**
              - 平三左門尉 **盛相**
- **賴繼**
  - **宗貞**

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

伊勢流

- 禪 霊弼相
  - 周種
    - 盛憲
      - 禪 梵貞
      - 禪 珠厳 長老東福住持
      - 盛景 豊後守
        - 盛敷 弥八掃部助
        - 禪 珠用
        - 禪 珠龍
        - 又八 貞尚 改治
        - 母 梵伊
      - 備前備中ホ守 盛定
        - 盛時 八郎
        - 禪 法名正鎮 珠轍
- 勘解由左門尉 伊勢守 貞経
  - 知
  - 兵庫助 備中守 伊勢守 貞國
    - 兵庫助 備中守従四 伊勢守 貞親 文明五正廿卒 九十七 号長松軒
      - 兵庫助 備中守 伊勢守従四 貞宗
        - 兵庫助 伊勢守 貞陸
          - 備中守 伊勢守 貞忠 実貞長者勇 永禄六九十一 於長坂討死
            - 又三郎 兵庫助 伊勢守 貞孝
            - 権少僧都 松林院 為儀同三司守光公子 貞雅
- 十郎 勘解由左門尉 伊勢守 貞経 法名聚禅イ経作継 実頼継子也
  - 七郎左門尉 貞信
    - 兵庫助 尾張守 伊勢守 貞行
- 貞冬

- 母 玄直 浄花院上人
  - 母 貞祐
    - 浄土上人浄花院 季馨
    - 左門尉 貞則
      - 母 五郎 貞豊
- 兼雅僧正 権少僧都 松林院 貞就
  - 母 権中納言兼頭猶子
  - 享禄四六四於天王寺合戦討死 又七 貞能
  - 律 遍照院 貞筭
    - 母 家女房 貞乗 星輪院
    - 女子 法印貞清妾久清母
    - 女子 細川左馬頭源尹賢妻
    - 女子 権中納言藤原永家卿室 家綱、永相ホ母

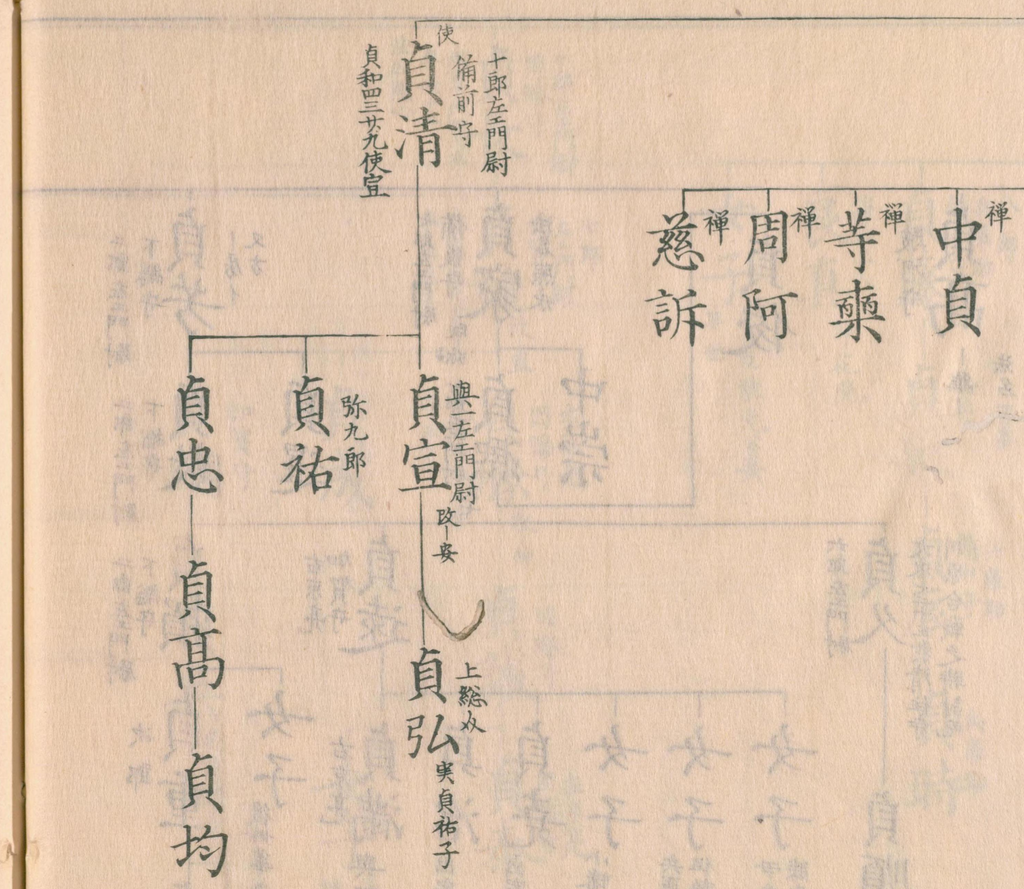
平十七

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

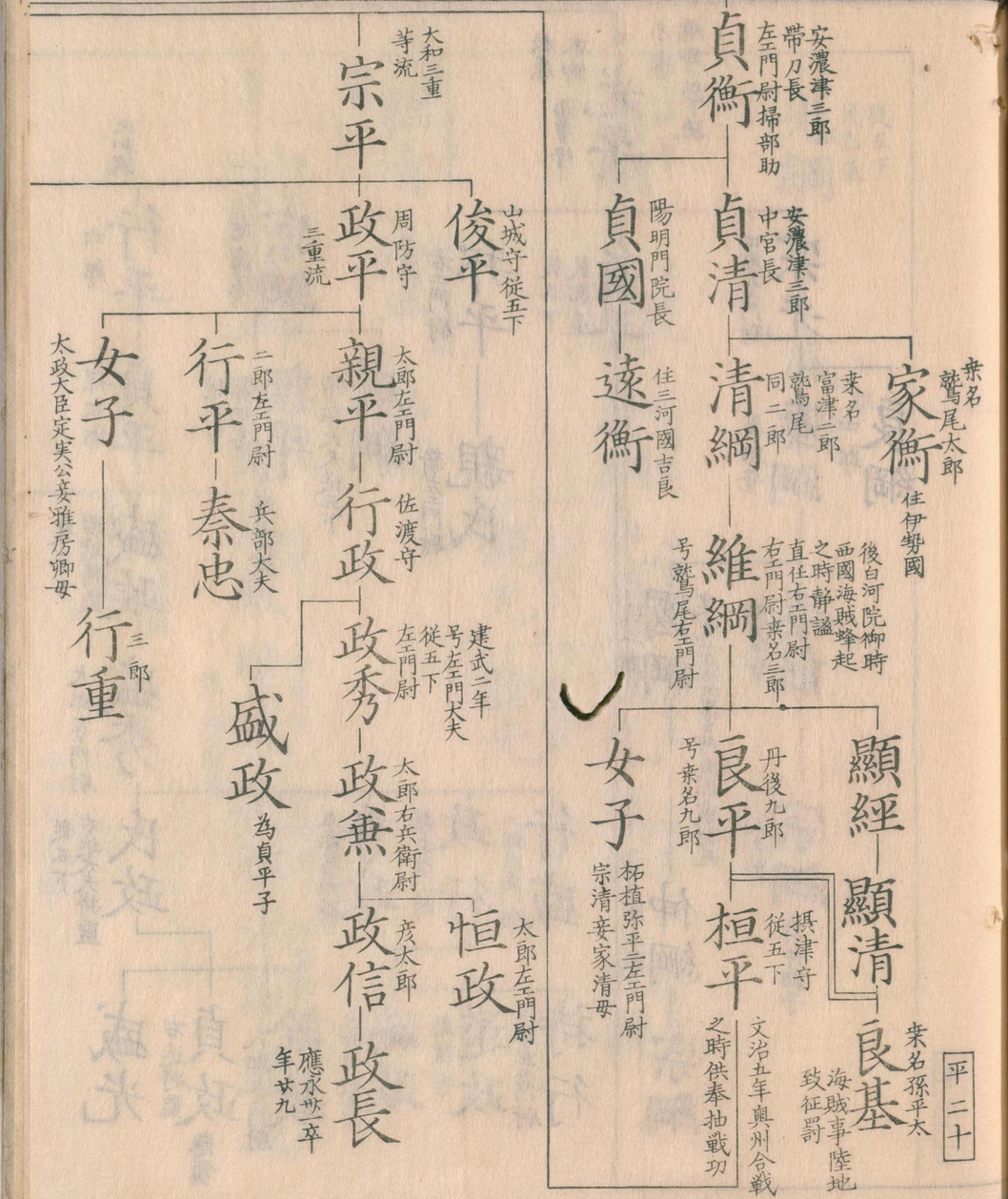
- 貞長　七郎左門尉　因幡守　永享六四七卒　年七十二　法名照心
  - 貞種　改直　七郎　左門尉　加賀守　永享九九十七卒　年五十三
    - 貞成　加賀守
      - 貞綱
        - 貞英　実貞勝子
    - 貞勝　改仲　右京亮　因幡守　寛正五六廿八卒　年五十八
      - 貞誠　因幡守
        - 女子　泰議藤永康室　権中納言永家母
        - 貞泰　左京亮　因幡守
          - 貞信　左京亮　因幡守
- 貞藤　八郎　兵庫助　備中守
  - 貞職　兵庫助
    - 貞辰　兵庫助　備中守
      - 貞時　兵庫助
- 良真　浄花院　浄土上人
- 女子　左大臣勝光公妻　早世

- 貞芳　二郎左門尉　下総守　又方イ房
  - 貞遲
  - 貞數　二郎左門尉　下総守
    - 貞賴　二郎左門尉　下総守
      - 女子　後妙華寺殿下妻
      - 貞重　次郎
        - 女子
        - 貞隆　次郎
    - 貞遠　右京亮　加賀守
      - 貞滿　右京亮　與一
      - 貞治　出家
      - 貞堯　出家常真
      - 女子　小幡執行法橋妻
      - 女子　兵庫頭大館源高信妻　但離別後又正三位藤範人室
      - 女子　尹豊卿室　勝秀母
      - 貞久　六郎左門尉　大永七十三於清住寺川原合戦之時討死
        - 貞順
- 貞家　七郎左門尉　備後守　改弥　法名照永
  - 貞凞　七郎左門尉　又七
    - 中崇
- 貞俊
- 貞高　駿河守　雅イ　法名照安

平十八



国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用


兵庫頭
貞良
母源□女
永祿五九十一於長坂山父同時討死
安濃津三郎
帶刀長
左二門尉掃部助
貞衡
安濃津三郎
中宮長
貞清
陽明門院長
貞國
住三河國吉良
遠衡
桑名
鷲尾太郎
家衡
住伊勢國
後白河院御時
西國海賊蜂起
之時靜謐
直任右二門尉
左二門尉桑名三郎
清綱
桑名
富津二郎
鷲尾
同二郎
維綱
號鷲尾右二門尉
顯經
顯清
良基
桑名孫平太
海賊事陸地
致征罰
丹後九郎
號桑名九郎
良平
摂津守
從五下
桓平
文治五年與州合戰
之時供奉抽戰功
女子
柘植彌平二左二門尉
宗清妾家清母
平二十
大和三重
寺流
宗平
山城守從五下
俊平
周防守
三重流
政平
太郎左二門尉
親平
佐渡守
行政
建武二年
號左二門大夫
從五下
左二門尉
政秀
太郎右兵衛尉
政兼
彦太郎
政信
應永廿一卒
年廿九
政長
恒政
太郎左二門尉
二郎左二門尉
行平
兵部大夫
秦忠
盛政
為貞平子
太政大臣定実公妾雅房卿母
女子
三郎
行重

大和流

- 行平（六郎）
  - 貞平（孫太郎）
    - 盛政（従五下 右近将監）
      - 盛秀（太郎左門尉）
        - 氏政（従五下 右近大夫将監）
          - 盛光
          - 貞政（右近将監 惣領）
          - 詮政（八郎左門尉）
        - 秀政（太郎左門尉）
        - 政行（新左門尉）
          - 滿政（大和守 従五下）
          - 道政（周防守）
          - 持行（三郎左門尉）
        - 行盛（二郎左門尉）
- 宗綱（薩摩守）
  - 頼平（従五下 彈正忠 号彈正大夫）
    - 成綱（掃部大夫従五下）
- 邦平（右左門尉）
  - 親氏（新左門尉）
- 光平（杉原 本卿 伯耆守 木梨 焼野 必下流）
  - 貞平（従五下 民部亟）
    - 國綱（又三郎 建武二正十六四宮河原合戦討死）
      - 仲綱（新三郎）
        - 宗綱
    - 泰綱（淡路守）
      - 泰能（伯耆守）
        - 宗綱（又三郎 為仲綱子）
    - 宗光（四郎左門尉）
      - 良綱（四郎）
  - 光綱（従五下 民部亟）
    - 盛綱（三郎）
    - 忠綱（四郎）
      - 親綱（主計允）
        - 時綱（左将監）
          - 光房（伯耆守）
            - 直光（伯耆守）
              - 滿平（四郎左門尉 彦太郎）
                - 光親
          - 親光（従五下 民部亟）
            - 詮光（左将監）
- 恒清（杉原 玄蕃允 焼野）
  - 清平（四郎左門尉）
    - 弘綱
- 心光（僧三位房 杉原）
  - 明平（兵庫允）
    - 政綱（兵庫允）
      - 滿盛（兵庫允）
        - 賢盛（伊賀守 愛人法名宗伊）
          - 長恒（安藝守）
            - 孝盛（伊賀守）
              - 晴盛（兵庫助）
      - 政光（五郎右兵衛尉）

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

- 行光（玄蕃允）
  - 行盛（法印権大僧都）
  - 行賢（法印権大僧都多門院）
  - 行賀（勸修寺門主三位房 橋本 坊官）
- 真觀（本卿僧 按察公 本梨流）
  - 弼平（隼人佑）
    - 信平（従五下 左兵門佐）
      - 光信（太郎左衛尉）
        - 光盛（太郎左門尉）
      - 胤信（古兵衛尉）
        - 滿胤（藏人）

- 為平（民部丞 本梨）
  - 光胤（従五下 備中守）
    - 光恒（修理亮）
    - 盛胤（左門尉）
  - 光春（三郎左門尉）
  - 實光（民部丞）
  - 賴胤（右京亮）
  - 忠重（藏 従五下 清盛兄 母）
- 忠重 平家物語云仁平三年正月十五日卒年五十八
- 正衡（使 出羽守 従五下）
  - 正盛（使 備前守 伊勢因幡守 右馬頭 兵庫頭 讃岐守 従四下）
    - 忠盛（使 内藏頭左京大夫殿院執權 播磨備前伊勢守刑部卿正四上 歌人 母）
      - 長盛（崇徳院北面 皇后侍）
      - 忠綱（宇治左大臣勾當）
      - 正綱（平九郎）
      - 通正
    - 忠正（右馬助従五下）

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

資盛
補任云文治元年三月廿四日於長門國赤間關入海没

長崎
津田
織田

宗盛
補任云元暦二年三月廿日於長門國檀浦被生捕趣関東同年六月廿日於近江國勢多誅之年廿九

清宗
補任云元暦二年三月廿日於長門國檀浦被生捕同年六月廿三日於江州勢多被誅年十五

桓武天皇十二代
肥後守藝播磨守
中務大少輔
使別當左兵衛佐
兵部卿右衛門督大貳
春宮大夫皇大后權大夫
准三后太政大臣從一位

清盛 兵仗輦車
母
仁安三年出家清蓮改静海
治承四六守准三后出家以後准后例
養和元年三四薨年六十四
号六波羅太政大臣又号平相國

常陸介
左馬頭從四下
家盛

遠江伊与權守
中務少輔
左右兵衛督
右衛門督
春宮大夫
左右大將
内大臣正二位

重盛
母右近將監高階基章女
治承三年八出家静蓮
同年八月薨四十三
号小松内大臣

使
藏
大夫尉越前守
内藏頭正四下
早世
母
基盛

播磨守
左馬頭正四
母
行盛
新勅作者

女子
李能卿室

頭
中宮權亮
春宮權亮
右中將
惟盛
壽永二八六解官元暦元三廿
出家静圓同廿八日於那智入
水年廿七

母
妙覺
童名六代丸
文覺上人弟子
母
權大納言成親卿女

母
女子

頭
右中將從三
侍從
越前守
資盛
母
少輔掌侍藤親方女
新勅作者

長崎流
盛綱

左中將正四下
清經

江州津田權大夫
越前織田祖
親真

權太郎
權大夫
親基

安藝伊賀若狭守
太皇大后亮權大進
内藏頭左馬權頭
大宮大夫修理大夫
参議正三
經盛
母
陸奥守信雅女
壽永二六六解官
新勅続後作者

左兵佐
但馬守正四下
經正
新勅新拾作者

刑部大輔
經兼

刑部大輔
若狭守
廣盛

若狭守
經俊

從五下
經光

母
敦盛

遠江淡路美作守
左馬頭左右兵權佐
三議右中將
左衛門督皇大后權大夫
右大將春宮大夫
内大臣從一隨身兵仗
宗盛
母贈左大臣時信女
從二平時子
壽永二六六除名

侍從
右衛門督正三
清宗
母贈左大臣時信女

正五下
能清
母
号自害大夫

阿波守從五下
宗親
養子

右少將從四下
有盛

備中守從五下
師盛

上人
勢觀
源空上人弟子

侍從丹波守從五下
忠房

侍從
土佐守
宗實
矢臣經宗公
為子改姓

母
重真

母
行實

仁
重遍

母
清雲

母
女子

母
女子

平二十三

知盛
補任云文治元年三月廿四
於長門國檀浦入水年廿
四
門脇

重衡
補任云壽永三年二月七日
於摂州一谷被生捕下向
鎌倉文治元年六月廿日被
誅於南都

通盛
補任云壽永三年二月七日
於摂州一谷討死

同日解官
元暦二於檀浦沒海中
淡路大和越中能登守
左馬權頭常陸介
内藏頭春宮亮
中納言従二
藏頭
教盛
母大宮權大夫家隆女

常陸介能登越前太守
中務大輔左兵衛佐従三
通盛 本名公盛
母藤資憲朝臣女
民部大輔
能登守従五下
教經 本國盛
藏従五下
業盛
法印權大僧都
山
忠快
南得業
盛緣

通衡
本公一

左兵佐武藏守
左兵衛督
征夷大將軍
權中納言従二
藏頭
知盛
母同上

左馬頭尾張守
春宮亮中宮亮
右中將正三
頭
重衡
母同上
玉作者

春宮少進
維俊
淡路守従五下
三河守
知度
淡路守従五下
清房
清貞 養子
女子 花山院左大臣兼雅公室

従五下
武藏守
知章
伊賀守従五下
知忠
知宗
女子 參議範茂室
範繼朝臣母

内大臣通親公室
女子 通具卿母
内大臣宗盛公室
女子
女子 従三教子
修明門院御母
範季卿室

高倉院后安德天皇母后
女子 中宮德子
建禮門院
准國母准三后高倉院准母六條摂政北政所
女子 従三位盛子
号白河殿
女子 大納言隆房卿室隆衡卿母
准三后従三位普賢寺関白北政所
女子
女子 修理大夫信隆卿室
女子 後白川院女房
女子 花山院左大臣家
廊御方
母九條院雜仕常盤井イ
女子 承元五八十四出家

頼盛
補任云母入道修理権大夫宗兼女文治元年五月廿九日依病出家同二年六月二日薨年五十三号池大納言

忠度
東鏡云寿永三年二月七日丙寅云〻討取云〻

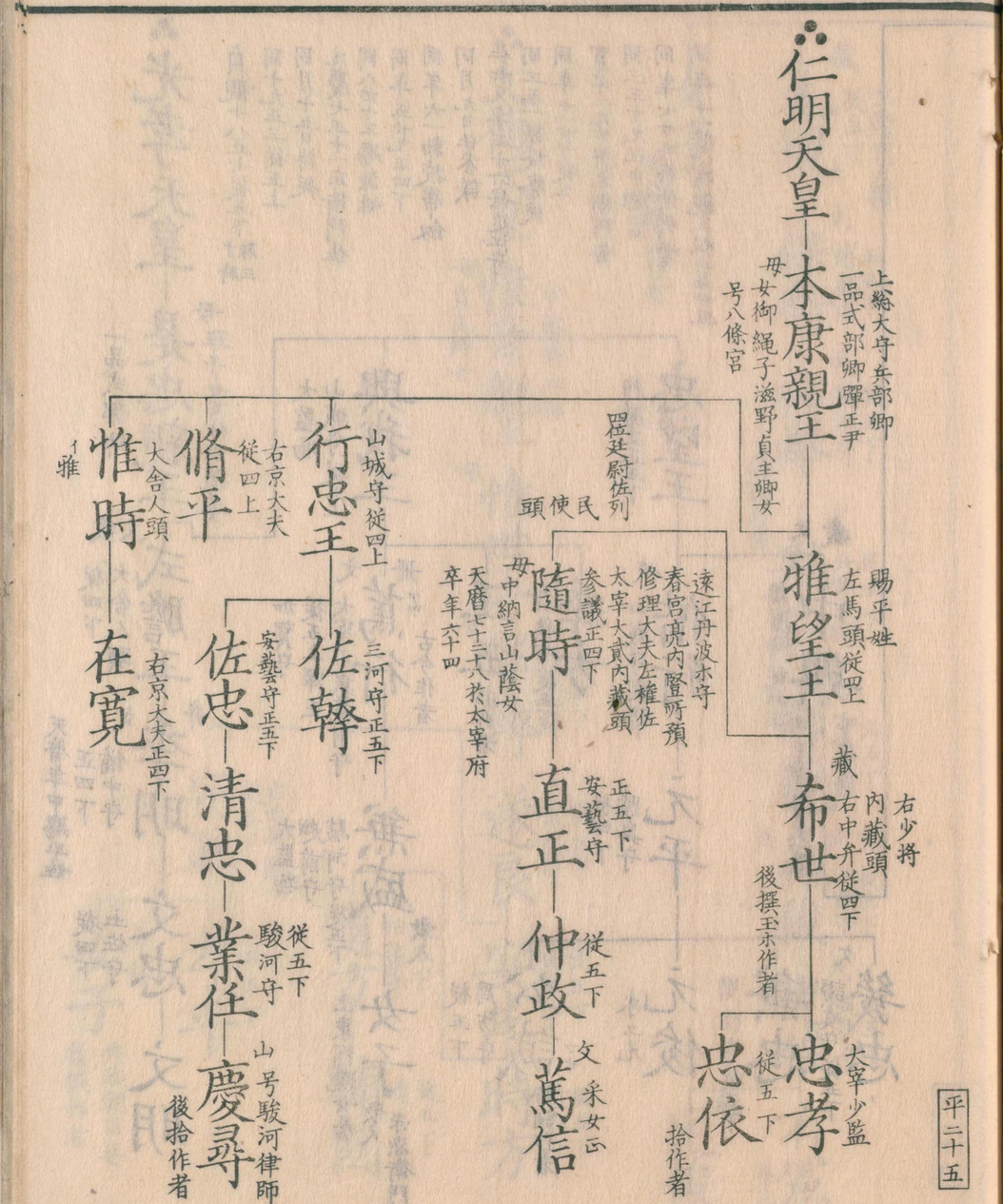
保盛
補任云建暦元年八月十四日出家

光盛
補任云母法印寛雅女八條院女房寛喜元正月十九日出家同七月廿日薨年五十

頼清
補任云文永三年月日薨

本康親王
一代要記云延喜元年十二月十四日薨

希世
紀略云延長八年六月廿日雷聲大鳴墮清涼殿坤第一柱上有霹靂神火侍殿上之者云云又従四位下右中弁兼内蔵頭平朝臣云云顔焼而卧云云



是忠親王
紀畧云延喜廿二年十月廿二日戊戌入道式部卿云々號南院親王

篤行
古今和歌集目録云寛平五年補文章生字平津延喜十年四月卒

元規
古今和歌集目録云延喜八年正月七日叙従五位下不幾卒

光孝天皇
貞観十八正七従五下 于時殊三
同十九正三従五上
同月十九日侍従
元慶七正十一左衛門佐
同八四十三賜源姓
同年五廿九正四下
同年六一勅授帯剱
同月九日任参議
仁和元年正十六兼近江守
同三五一兼按察使
同年十一廿七従三
寛平二九廿兼左衛門督
同三三十九任中納言
同年七廿三為使別當
同年十二廿九為親王叙三品廿五

一品式部卿
母 班子女王仲野親王女

式部卿天皇
本東勝王
元慶天皇

大監物
山城守従五上
興我王
母 内膳正正五下
忠望王
文藏
中興
播磨守従五上
実右大弁秀長一男
古今作者

王五
拾作者

文
冊
古今作者
篤行
加賀守
従五上彈正
大宰少貳筑前守

文藏
式
大舎人頭
従四下
式部卿
式
備中守
正四下
季明
文
弁
文忠
従四下
土佐守
文明

天暦年中賜平姓

季方
豐後守従五下

使
山城守従四下
偕行
従四下
陸奥守
元平
木工允
元俊
周防守従五下
公誠
拾詞作者
マサ
従五下
周防守

文
讃岐守従五下
幾忠
兼忠

大監物
越前守
駿河守従五下
兼盛
歌人
女子
上東門院女房
歌人
赤染衛門

左衛門大尉
藏
従五下
元規
正五下
式
越前守
保衡
従五下
式
駿河守
祐舉
拾詞作者
従五下
式
兵部少輔
舉範
従五下
史
伊賀守
正五下
師範
文
従五下
式
伊豆守
民
祐俊
民
従五下
筑後守
光俊
有憲
本祐
史
定俊

女子
後撰新勅作者

文德天皇
中務卿四品
惟彦親王
母 貞主卿女
惟世王
母
従五下
能登守
寧轉
従五下
長門守
遂良
安生
従五下
義作守
時方
従五下
陸奥守

右近將監
従五下
安直
従五下
孝平
命婦
女子
共政朝臣妾
後撰作者

従五下
伯耆守
道方
従五下
遠江权
輔國

平二十六

大俣王
書紀敏達卷云四年正月
丙辰朔ニ云是月立夫人
春日臣仲君女曰老女子
夫人更名藥君娘生二男
一女其一曰難波皇子其四
曰大湯ノ皇子ニ云云

美奴王
姓氏録抄云橘朝臣條敏
達天皇皇子難波皇子
男贈従二位栗隈王男治
部卿従四位下美奴王ニ云
○続紀云和銅元年五月
辛酉従四位下美奴王卒

奈良麻呂
補任云母贈太政大臣不比
等女

佐為
続紀云天平九年八月壬寅
朔中宮大夫兼右兵衛率
正四位下佐為卒

錦裳
日本紀畧云大同四年六
月庚子散位従四位上ニ云
卒

橘氏

私云異本第十六巻

第世代

敏達天皇 — 難波親王 — 大俣王 — 美奴王

難波親王：母 夫人春日老女子娘

大俣王：贈正二位

美奴王：摂津大夫 大宰帥 治部卿従四下 贈正二位

諸兄：母 従四下縣犬養東人女
上表曰云云和銅元十一廿五天皇宴會群臣云云親母贈従一位
縣犬養橘宿祢云云譽忠誠之至賜浮盃橘勅云是以為
汝姓云云天平八十十七日葛城王與弟佐為王等賜橘宿祢
今日改名諸兄天平勝寶二正廿七改為朝臣同九正六薨年
七十四号井手左大臣或号西院大臣
左大臣正一位参議左大弁侍従

佐為：母 同上
右兵衛率侍従 中宮大夫正四下

綿裳：従四上 右京大夫

枝主：従五下 安藝守 藏圖書頭
（二継城云云）

女子：尚藏 従三
右大臣是公妾大納言雄友母

高成：左京亮

春成：武藏守雅樂頭 木工頭備前守 従五上 大膳大夫 藏

秋實：藏尾張守正五下 下総大判事 弐 長門守 従四下

長盛：古今作者 大内記大學頭 東宮學士 文章博士 策式部大輔正四下 従四下

直幹：文章生 従五下 武藏守 後撰已下作者

列相：拾遺続古作者

忠幹：駿河守従五下

奈良麻呂：天平勝寶九七二被誅年廿七
贈大政大臣正一位
長者
参議左大弁正四下

清友
文德實録云嘉祥三年五月壬午嵯峨太皇大后崩傳云父清友少而沈厚涉獵書記身長六尺二寸眉目如畫舉止甚都云云延曆五年為内舍人八年病終於家時年廿二仁明天皇受禪尊皇太后為太皇太后追贈后父太政大臣正一位母正一位云云
氏人
続後紀云承和十二年七月己酉卒
眞直
文德實録云仁壽二年六月乙卯右大臣從二位氏公第三子也卒時年廿七
安麻呂
類聚國史六十六薨卒部云弘仁十二年七月乙巳散位正四位下云云卒時年八十三母從三位大原真人明娘也
嘉智子
母神祇伯田口朝臣佐波主女続後紀承和十四年閏三月戊子田口朝臣佐波主傳可證文德実録云嘉祥三年五月辛巳嵯峨太皇大后崩時年六十五贈正一位
淨野
類聚國史卒六薨卒部云天長六年十二月乙丑散位從四位上云云卒性質素少所欲隱居交野無意出仕為太皇太后叔父被授崇班辛時年八十
安萬子
日本紀畧云弘仁八年七月癸卯典侍從四位下橘朝臣安萬子卒詔贈從三位賻贈有數安萬子者皇太后之姊適宮内卿正三位藤原朝臣三守
入居
類聚國史百四十七文部下撰書云延曆十九年二月戊寅卒
永継
類聚國史六十六薨卒部云弘仁十二年三月庚申卒年五十三
逸勢
続後紀云承和九年七月庚申罪人橘逸勢除本姓賜非人姓流於伊豆國九月甲午逸勢以去月十三日身死云
○文德實録云嘉祥三年

長者 春宮亮 兵部大輔 從四下
島田麻呂
右將監但馬守 右馬頭左衛門佐 右中將美作守 右衛門督宮内卿 右大將刑部卿 右大臣從二
相摸守内舍人 左兵佐丹波守 兵部大輔 參議左中將
贈大政大臣 内舍人
清友
古今作者
氏公
母粟田小松女泉子 承和十四十二十九薨年卒五贈正位 号後井手右大臣
藏 頭
峰継
母田口継丸女真中 貞觀二十廿九薨 年五十七
藏中納言正三 左五門督
從四下右兵佐 相摸權守 右少將
藏 頭
真直
歌人
因幡守 陸奥守 從五下
葛直
古今作者
女子
陸奥
神祇伯正四下
氏人
右京大夫從四上
弟氏
承和七年四月五日卒
侍從 少納言正五下
清蔭
紀伊守 兵部少輔 從四下神祇伯
春行
少納言 大舍人頭 從四上
實利
藏 正四下 宮内卿
正通
後撰作者
詞花作者
散位從四位上
淨野
安雄
為沙門
國母 仁明天皇母后
女子
太皇大后宮
嘉智子 号嵯峨太皇大后又橘大后
後撰作者
弘仁六十三為皇后宮
右中弁 左京大夫 播磨守 左兵佐從四下
入居
修理大夫從四下
永継
神祇伯右兵督彈正大弼播磨守丹波守但馬掾
永名
イ若 從三東宮大進民部少輔大藏大輔 貞觀八五十卒年八十七
從五下但馬權守
逸勢
能書
典侍從四下
女子
安萬子 左大臣藤三守室有純母
長者 伯耆守從五下
真毬
イ作栽又球
藏 策
峰範
長者 神祇大副 若狭守圖書頭 阿波守從五上
大監物從五下
峯守
長者侍従陽成光孝宇多 民部少輔文章博士近江守
藏 策
廣相
式部大輔正四上 參議左大弁 本傳覽
頭 弁
寛平二五十六卒年五十六 贈中納言從三位
龍緒
イ叙
實山
女子
尼妙中
女子
淳和天皇女御 從四位上氏子
橘 二

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

五月壬辰追贈流人摘朝臣逸勢正五位下云云赴配所也有一女悲泣歩従云云逸勢行到遠江國板築驛終于逆旅女攀号畫哀便葬駅下廬于墓前守屍不去乃落髮為尼自名妙冲云云及詔帰葬女尼負屍還時人異之稱為孝女○仁壽三年五月甲寅加贈正五位下云云従四位下

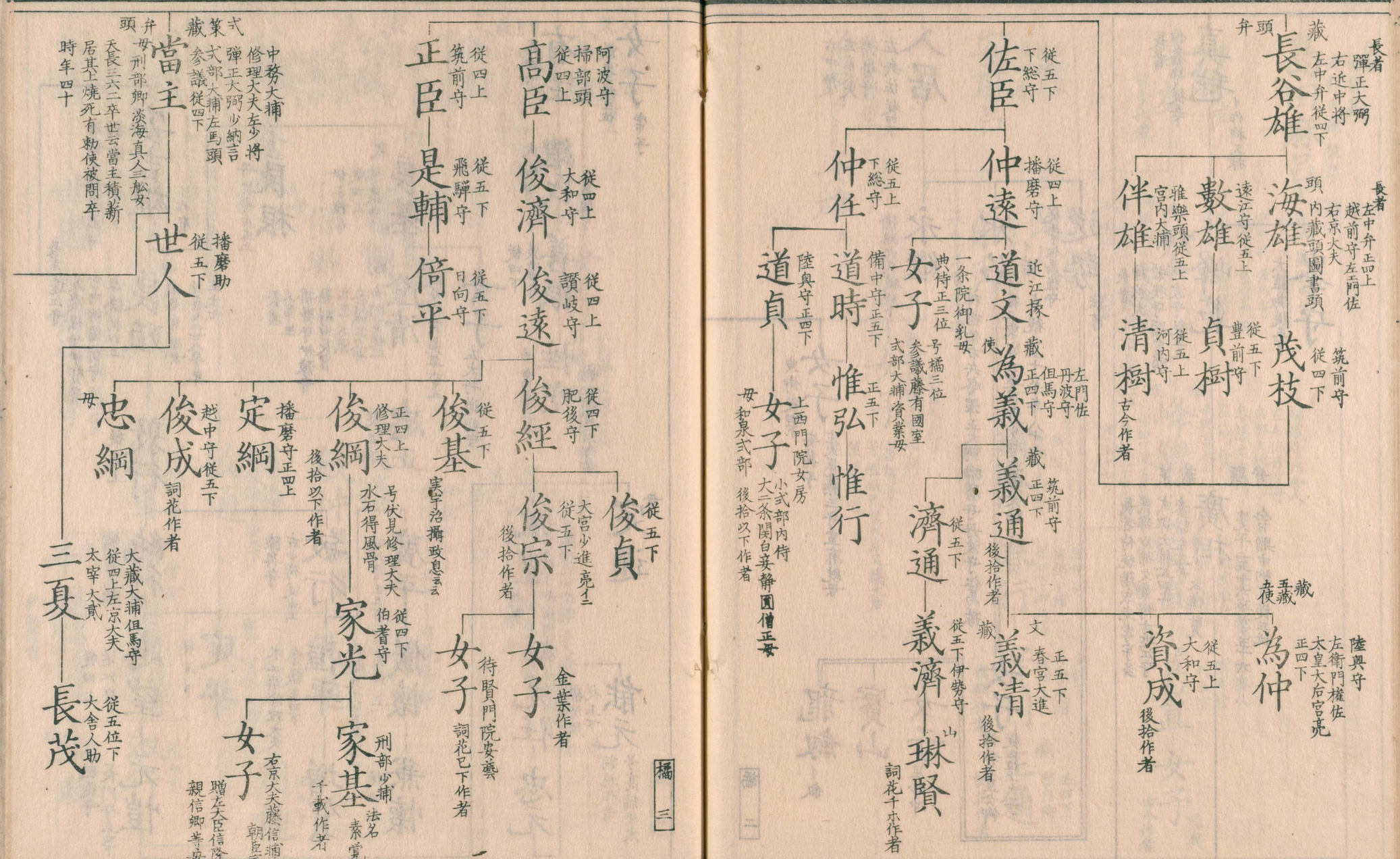
廣相
補任云母民部大輔藤原朝臣末永女

長谷雄
類聚國史六十六薨卒部云天長元年二月戊子卒時年四十有六

惟弘
権記云長保二年八月十九日藏人所少監物橘惟弘云云

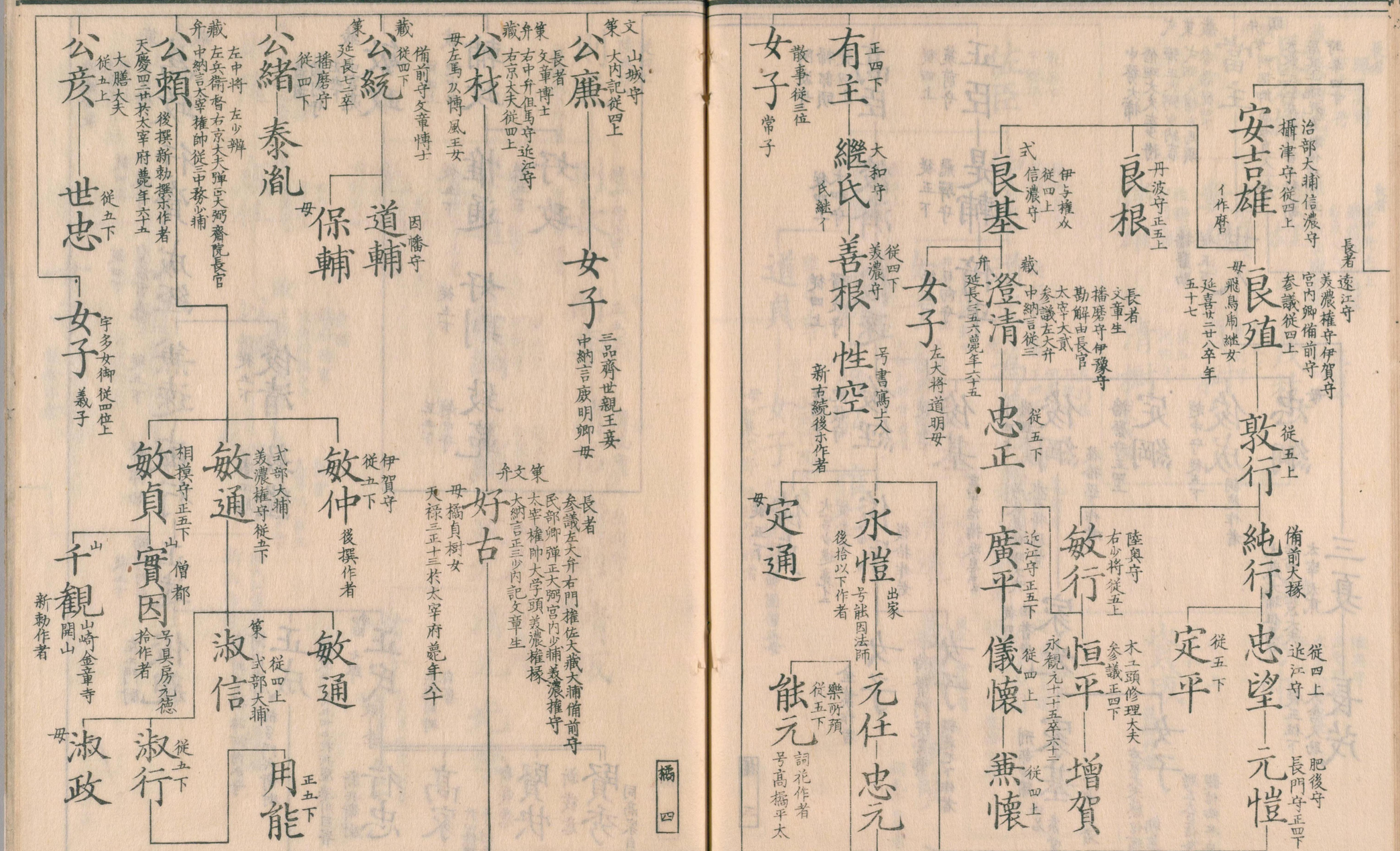
當主
補任作常主

三夏
三代實録云元慶四年正月十三日丁卯卒



恒平
補任云母二世従四位下也
國王女知子女王
増賀
扶桑畧記云長保五年
六月九日辰時ニ於大和國
十市郡倉橋山多武峯南
光房入滅年七十七
良基
三代實録云仁和三年六月
八日庚戌卒年六十三
永愷
中古歌仙三十六人傳云遠
江守忠望孫肥後守元愷
男實弟云、文章生号
肥後進士。異本橘系圖
云号吉曽部入道法名融
因後改能因云、集作者
女子
類聚國史百八十七佛道
部云弘仁八年八月戊午朔
散事従三位橘朝臣常
子薨時年三十
性空
元亨釈書十一云、云年三
十六出家云ニ寛弘四年二月
十三日誦法華而寂年八十

公頼
補任云母左馬頭従四位
下惟風王女



橘四

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

- 為政（藏 策）— 侍従冷泉 大和守 従四上 右中辯
  - 行資 — 従四上 伊豫守
    - 成経 — 従四下 皇后宮亮
      - 兼遠 — 従五下
        - 盛行 — 掃部助
          - 正遠 — 従五下 楠河内守
            - 俊親 — 左兵門尉
      - 俊清 — 従五下
        - 敦隆 — 木工助
  - 正成 — 大夫判官摂津河内水守 河内水守 楠多門兵衛尉
    - 正氏（留） — 七郎 改一季 正成同時自害
      - 行忠 — 新兵衛尉 建武三丙戌五廿五於兵庫湊川自害
      - 高家 — 於四條縄手討死
      - 賢快 — 新發意
      - 賢秀 — 新發意 同高家自害
- 敏政（藏） — 長者 駿河守 正五下 中宮亮
- 輔政（藏） — 従四上 越中守
  - 惟通 — 従五下
    - 好則 — 従五下
      - 致範 — 正五下 越中守
  - 好政 — 従五下

- 則光 — 従四上 陸奥守 後拾以下作者
  - 則長 — 越中守正四下 後拾以下作者
    - 則季 — 正五下
      - 清信 — 讃岐守
        - 清則 — 出羽守
          - 清成（母）
  - 季通 — 駿河守従五上 後拾以下作者
    - 季綱 — 従五下 河内守
      - 光綱 — 従五上 和泉守
        - 政光 — 判官代 雅楽助
          - 清光 — 右兵尉
            - 光季
  - 光朝 — 法師 母行平女 為行平子云々
    - 女子 — 左大臣経宗公妾 右大臣師経公母
- 則隆（藏） — 長者 陸奥守 刑部大輔 中宮亮正四下
  - 成任（藏） — 正五下 常陸介 陸奥守
    - 以綱（藏） — 長者 鎮府將軍 陸奥相模水守 主計頭従四上
      - 廣房（藏） — 文 信濃守正五下 長者 文章得業生 為大江匡房卿子天永二年還本姓 新勅作者
- 行平（藏） — 従四上 因幡守 因幡堂本願
  - 行頼 — 有子孫茶師寺 拾遺作者
  - 女子 — 光朝法師母 後拾作者

橘 五

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

以緒
補任云天文廿四年五月
廿七日任参議同日自酉
尅大中風同廿八日巳刻
薨年六十二法名永壽

- 以長 藏 嘉暦元卒 長者 大膳亮 従五下 筑後守
  - 以政 藏 長者 筑後守 摂津守 中宮亮
    - 以経 藏 長者 彈正大弼 従四下 中宮亮
      - 以長 藏 長者 阿波尾張守 左京大夫 但馬権守 皇后宮大進
        - 以隆 藏 長者 左馬頭昇殿 但馬守 彈正少弼 正四下 刑部卿
          - 以成 藏 左馬助 正四下
            - 以為 母
          - 以時 藏 母
            - 以春 母
              - 以頼 母
          - 以民 母
        - 以朴 藏 院昇殿 長者 正四下 左馬権頭
          - 以季 藏 長者 昇殿 正四下 左馬権頭
      - 女子 大藏卿藤隆博卿室 正三位隆教卿母
    - 以房 藏 甲斐守 中宮権少進 従五下
      - 長政 法名寂縁 続後撰作者
  - 支経 号橘生大夫 従五下 東縣一司
    - 朝依 橘生三郎
    - 滝實 東滝房上座
      - 實圓 刑部上座
  - 以忠 母 宮内大輔
    - 以継 母 彈正大弼
      - 以賢 母

- 以基 藏 長者昇殿 中務少輔 左馬権頭 従三位 応永廿七薨 本姓範
  - 以盛 藏 式 長者 義濃守 民部大輔 修理大夫 宮内卿正三位
    - 以量 藏 式 長者 左二門佐 兵部大輔民部大輔 右二門権佐義濃守 刑部頭従三位 明應五五薨年卒
      - 以緒 藏 式 長者 義濃守 左衛門佐 宮内卿 正三位 実文章博士菅原在數朝臣三男
  - 女子 太政大臣源通博公妾 右大臣豊通公母
- 以頼 藏 正四下 左馬頭
- 以相 兵部大輔 上北面

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

- 廣仲（従五下 信濃守）
  - 以輔（藏 備中守 正五下）
    - 以清（藏）
  - 親長（藏 右兵尉 従五下）
    - 邦長（藏 実廣仲二男）
      - 以邦（藏 備前守 正五下）
        - 以信（藏 従五上）
          - 以持（藏 従五下）
            - 以範（藏）
      - 邦康（藏 但馬守 正五下）
        - 邦良（藏 三川守 正五下）
          - 邦方（藏 尾張守 左兵尉）
            - 邦量（藏 賢イ）
          - 以益（母）
          - 邦兼（正四下）
            - 邦敦（藏 中務大輔 使）
              - 邦定（藏 但馬守）
              - 邦重（藏 従五下）
          - 以持（藏 従四下 イ無）
          - 邦範（藏 従四上）
            - 邦宗（藏 左兵衛尉 従四下）
- 以實（藏 判官代 正五下）
  - 以俊（従五下）
  - 知宣（実兼康三男 刑部大輔）
    - 知輔（使 藏 左兵衛尉）
    - 知仲（刑部大輔）
      - 知兼（作物所奉行）
      - 知家（藏）
        - 知清（使 藏）
      - 知茂（使 藏 中務大輔 伊与守 正四下）
        - 知嗣（藏 長者 正四下 左京大夫 以隆朝臣依服暇令籠居一旦補長者 正平五六卒）
          - 女子（権中納言公藤卿妻 実永卿母）
        - 知季（藏）
- 知顯（作物所奉行 長者昇殿 藏 刑部卿正四下）
  - 知康
  - 知任（長者 木工頭 昇殿 藏 刑部卿従三 延文六三廿七薨）
    - 知氏（藏 刑部少輔 横死）
    - 知兼（藏）
    - 知繁（藏 長者 木工頭修理職 刑部卿従三位 康暦元十九薨年卒 改以一）
      - 知廣（兵部大輔 上北面 早世 五位昇殿）
      - 知之（木工頭従三位 定イ）
      - 知季（藏 作物所奉行 兵部大輔上北面 昇殿）
        - 知興（藏 長者 右兵佐 三河守 治部卿正四下 昇殿）
      - 女子（内侍繁子）
      - 女子（内侍）
      - 女子（新内侍）
    - 知定（藏 兵部少輔 昇殿）
    - 知忠（加賀守 中務少輔）
    - 女子（内侍）
    - 女子（権中納言教言卿室）
    - 女子（内侍）

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

知尚
補任云母鎮西住人宗像
六郎入道淨惠女

- 知尚
  - 伯耆因幡丹波守 左京大夫 大膳大夫 刑部卿 長者 藏 従三
  - 母 淨惠法師女 應長二正堯法名觀智
  - 知國 藏 宮内大輔従四下 修理職 昇殿
    - 知藤 藏 丹波守
  - 知経 藏 長者 大膳大夫 刑部卿正四下
    - 知春 藏 左京大夫 右馬助 従四下
      - 知通 藏 左馬助 正五下
    - 宣顯 法印
      - 知雄 治部大輔
        - 知孝 但馬守正五下

- 正行 帶刀
- 正時 二郎
- 正義 左馬頭
  - 正秀 右馬頭
    - 正盛 号大饗西法入道
      - 盛信 右工門尉
        - 盛宗 右馬頭
          - 盛秀 左馬助
- 長成 右馬助
  - 隆成 左馬助
    - 正虎 左兵衛

橘八

839
3
26

速水房常藏本與書

天文廿一年三月十五日以廣橋亞相兼秀卿家本書寫了

左兵衛佐卜部兼右

墨付廿四枚

天正十九辛卯年八月十二日書寫畢　梵舜 在判 廿九歳

同月六日筆立十二日終於燈下遂校合者也

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26

ガラス使用